



↑ 堅倉小学校での読み聞かせの様子(左)、江戸住宅区サロンでの狂言の様子(右)

まちづくり組織紹介-話し方教室

私たちは朗読ボランティア団体として活動しています。活動内容は「広報おみたま」をテープに録音し、魅力発信課を通して目の不自由な方にお届けする「声の広報」事業を行っています。また、幼稚園や小学校で絵本や紙芝居等の「読み聞かせ」、各区のサロン、敬老会、市主催等行事での「狂言」や「朗読劇」、「口上の披露」なども行っています。今年度は山形県の第39回みちのく民話まつり「秋祭り」にゲスト出演させていただきました。依頼があれば足を運びますので気軽にお声かけください。また会員も募集していますので、興味のある方はお声かけください。(話し方教室 会長 真家悦子)

※入会方法については小美玉市役所市民協働課へお問い合わせいただければお繋ぎいたします。

あなたもまちづくり活動、始めてみませんか？



まちづくりの認定を受けませんか？

まちづくり組織の認定

地域を舞台に、地域活性化や課題解決を目的として市民主体で活動する組織が「まちづくり組織」の認定を受けることで市からの支援を受けることができます。

※認定の可否は、有識者等で構成されるまちづくり審査会(4月28日開催)で決定されます。

お問い合わせ

小美玉市役所 市民協働課 ☎0299-48-1111(内線1133)
※各団体の入会方法についてもお気軽にお問い合わせください。

まちづくり活動を支援しています！

補助金

「新たな取組を始めたい」「もっと充実させたい」などの要件を満たすと、活動資金の助成申請ができます。

人材育成

連絡会主催の研修等のまちづくり人材を育成する研修会に参加することができます。

広報支援

市が発行する広報紙や公式ホームページを使ってまちづくり活動の情報を広く周知することができます。

備品貸出

イベント開催に必要な机、イスなどの備品を借りることができます。※備品一覧はホームページに掲載



↑ じっさい大道芸 上演(左)、アロマワークショップ「バスボムづくり」(右上)、お雛子体験「絆子雛子」(右下)

今月の表紙

「オガワフェスタ2025」を開催しました！

おがわ地区コミュニティは、令和7年11月9日(日)に小川南小学校を会場に「オガワフェスタ2025」を開催しました。体育館では、受付でポップコーンの無料配布をし、防災管理課協力のもと心肺蘇生・防火衣着体験、避難テント、避難所パーテーション、ベッド等体験、非常用アルファ米の無料配布を実施しました。アトラクションでは、じっさいによる大道芸、絆子雛子連によるお雛子体験、そば打ち体験、カイロプラクティック、アロマワークショップ、ストラックアウト、ポッチャ、駄菓子型抜き遊び

等を楽しみました。屋外では、防災体験コーナーは雨天の為、中止となりましたが、消防車両の展示、キッチンカーが数台出店し、賑わいが生まれました。このイベントは、地域のコミュニケーションを図り、緊急時でも動けるよう絆を深め、地域の更なる活性化を図ることが目的です。これからもコミュニティの絆を深めることを常に意識して、安心して安全に暮らせるまちづくりを目指します。(おがわ地区コミュニティ 会長 小島健一)

まちづくり認定組織数 令和8年3月現在

学区コミュニティ … 12団体 テーマ型まちづくり … 18団体 まちづくり委員会 … 37団体

まちづくり組織
連絡会について



玉川地区コミュニティ



玉里太鼓の演奏が会場に響きました(左上)、地元の方による演奏会(左下)、海外研修生も一緒に楽しみました!(右上)



玉川地区コミュニティまつりを開催しました!

令和7年10月25日(土)、玉川地区学習等供用施設にて、「玉川地区コミュニティまつり」を開催しました。小雨の混じる中、玉里太鼓による力強い演奏で開会し、屋外中央ステージでは、玉里義務教育学校の生徒によるダンスや、楽器演奏、海外研修生の郷土舞踊の披露などがありました。カラオケ大会は子供からお年寄り、海外研修生も熱唱し大いに盛り上がりました。更に地元の方による模擬店や、野菜の直売、子供会によるゲームコーナーなどが行われました。屋内は企画展とし、地元伝統文化の写真や、愛好家の作品、女性部の活動記録写真などを展示しました。これからも玉川地区の色々なものを発掘しながらコミュニティ事業を発展させていきます。

(玉川地区コミュニティ 会長 菊地隆男)



特定非営利活動法人わわわネット

わわわネットの活動予定とリユース事業のご協力について

設立後3年が過ぎ、まちづくり事業と子ども支援事業を核に活動を広げています。今後の事業としては、3月22日(日)小美玉市民の日、4月4日(土)さくらフェスティバルでのエシカルショップの出店です。ショップでは、児童労働のない、かつ環境負荷のないフェアトレード商品やネパールの女性の仕事を増やすためのバックなどの雑貨等を安価で販売いたします。また、制服や体操服のリユース事業も実施していますが、在庫不足により、必要としているお子さんのニーズに答えられない状況です。広報や寄付などご協力お願い致します。(特定非営利活動法人わわわネット 理事 米川久子)

学生服 体操服 学校用品
不要になった学生服等「わわわ」に寄付をお願いします。
※寄付してくれた方に次回購入時に使える割引クーポンプレゼント

地域の中で循環リユース
必要な人へ無料又は低価格で販売
卒業・転校など使わなくなった人
寄付
・補修
・お手入れ
リユースは人にも環境にもやさしいよね!

※お困りのご家庭には無料で学生服等差し上げます。社会福祉協議会にご相談ください。
【対象地域】
★小美玉市内の幼稚園～高等学校
★小美玉市近隣 中学校・高校
★試着・販売は完全予約制です。
※事前にメールか電話でお問合わせください。

【寄付出来る場所】わわわ事務所
☆使わなくなった学生服・体操服などの学校で使うのも「リユースわわわ」の収益金はNPOの地域支援事業に使われます。
☆買取は致しておりません。

Instagramもやってます。
#wawawanet

お気軽にお問合わせください
お問合せ先
NPO法人 わわわネット
事務所 小美玉市堅倉 1696-35 (井坂文具店内)
学生服に際するお問合せ先 0299-48-0237 (井坂文具店)
E-mail wawawanet2022@gmail.com

お問合せ先 (メール) (ホームページ)

「仲丸池をきれいにする会」活動のきっかけ

「酷い匂いだ。何とかして欲しい」10年前の仲丸池は魚類が全滅し、悪臭が酷いものでした。そこで私たちは、石岡市で池をきれいにする活動をしている方がいると聞き、早速その方を招き勉強会を開きました。様々なノウハウを学び、私たちは「仲丸池をきれいにする会」を結成し、EM(有用微生物菌)を土と混ぜて投入する活動を始めました。数ヶ月で悪臭は消え、池には次々と生き物の姿が見えるようになりました。昨年から池をきれいにする活動はEM活性液の投入だけとし、現在は花壇づくりに力を注いでいます。一年中花の見える場所にしたいのです。春先には紫花大根が咲き揃うでしょう。ぜひ見に来て下さい。

(仲丸池をきれいにする会 事務局 鈴木俊夫)



仲丸池をきれいにする会

花壇づくりで池を華やかにしています!

納場地区コミュニティ



飛来する白鳥が冬の池花池ではおなじみの景色となっています!(左)、地域の皆さんで食事を楽しみました(右)



「白鳥を観る集い」を開催し、地域の交流と白鳥への慈愛を深めました

部室区の池花池には遠くシベリアから毎年多くの白鳥が飛来し越冬します。納場地区コミュニティでは、オオハクチョウ(大白鳥)を労わるため、冬晴れの令和8年1月25日(日)に「白鳥を観る集い」を島田市長や来賓のご来場の下に開催しました。中崎智雄氏(江戸住宅区・小美玉生物の会)には、オオハクチョウの生態について説明頂き、改めて白鳥の偉大さを知りました。会場では恒例の餅つきや、豚汁等のサービスが行われ、今回は3台の販売車も来場し賑わいが増し、OMT-JAPANの演技を楽しみ、地域の交流を図るとともに、白鳥への慈愛を深めることができました。(納場地区コミュニティ 広報委員長 岡村共由)